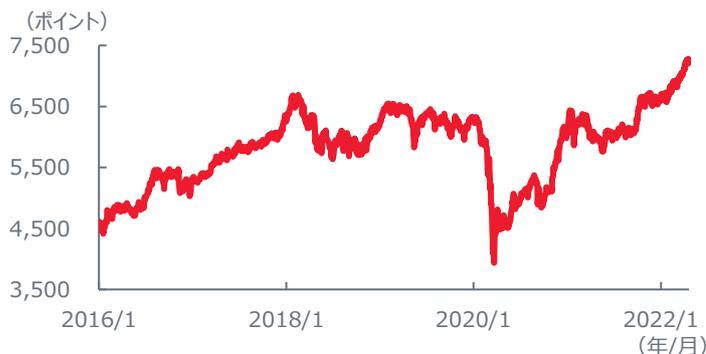


(対象期間：2022/4/18～2022/4/22)

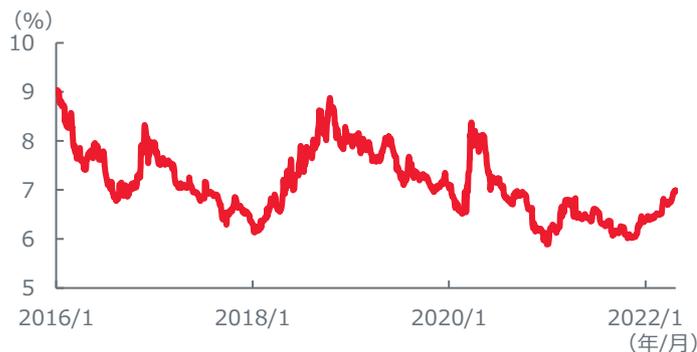
【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年4月22日)

【株式市場】

週初のインドネシア株式市場は外国人投資家からの資金流入を背景に堅調となりました。19日は国内投資家からの利益確定売りに押されたほか、大手Eコマース株の大幅下落を受け下落しました。20日はニッケル株や石炭株に利益確定売りが見られた一方で、銀行株は堅調となり持ち直しました。21日は不動産株や建設株などがけん引し、終値ベースで史上最高値を更新しました。22日はアジア域内の市場が下落する中、翌週後半からの断食明け大祭（レバラン）の大型連休を前にした利益確定売りが見られ下落しました。株式市場は前週末比で下落しました。

2022/4/14	2022/4/22	変化率
7,235.53	7,225.61	-0.14%

※15日は祝日のため休場

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年4月22日)

【債券市場】

18日は翌日のイスラム国債入札を前にして利回りはやや上昇（価格は下落）しました。実際の応募額は前回から大幅に減少しました。19日に開催されたインドネシア中央銀行（BI）の金融政策決定会合で、政策金利は市場の予想通り3.5%に据え置かれました。BI総裁は会見で、インフレ率が明確に上昇するまで据え置く方針を改めて示しました。また、2022年のGDP成長率見通しを4.7-5.5%から4.5-5.3%に引き下げた一方、2022年末のインフレ率は目標の2-4%以内に収まるとの見方を示しました。発表後の10年国債利回りは小動きとなりましたが、前週末比では上昇しました。

2022/4/14	2022/4/22	変化幅
6.930	6.994	+0.064

※15日は祝日のため休場

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年4月22日)

100インドネシアルピアの対円レート

【為替市場】

18日、株式市場への資金流入や3月の貿易収支が45.3億米ドルの黒字と昨年10月以降で最高となったことが好感され、ルピアはやや上昇しました。19日、BIは政策金利を据え置くとともに今年の成長率予想を引き下げ、低金利政策の必要性を強調しました。BI総裁は会見で、内需の回復が予想よりも鈍く、コア・インフレ率が抑制された状況では預金準備率の引上げで十分との見方を示しました。その後ルピアは小動きとなり、22日は米国債利回りの上昇を受けて対米ドルで下落しました。ルピアは前週末比対米ドルでは下落、対円では上昇しました。

2022/4/15	2022/4/22	変化率
0.8793	0.8945	+1.73%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。